

技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

20 H27/2/17

ブリッジ新潟で三度目の「打刃物の世界展」

2月6日(金)から8日(日)までの三日間、東京日本橋のブリッジ新潟で開かれた恒例の「越後与板打刃物の世界展」。昨年より会期を前倒ししての開催でしたが、東京は低気圧の只中で寒さのピークでした。



研ぎを担当する予定メンバーの高木さんが直前になって体調を崩すという思わぬハプニングに見舞われ打撃となりましたが、古見さんが大活躍。中野さんもカバーをして三日間で包丁研ぎ 37 本を達成。最終日はあいにくの風雨でしたが入場者数も 2,358 人を記録。イベントも定着してきたように感じます。



体験コーナーは連日盛況。カンナを使ってその切れ味をたしかめる。削りくずも大事にお持ちかえりでした。



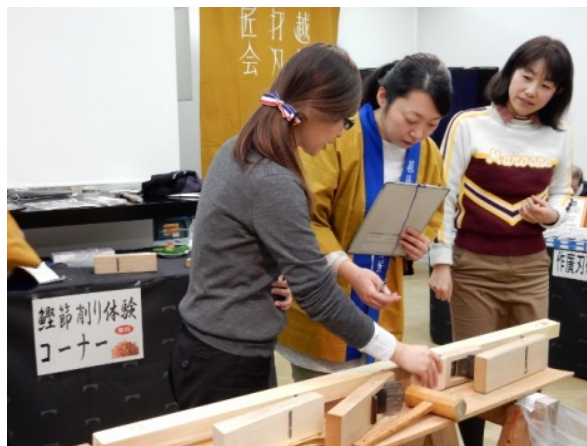
大好評の「キツツキ体験」。ノミで木をうがつ音もリズムカルに。



刃物研ぎのようすに、興味しんしん。来るのを待っていたという人も。

あらたな女子プロ向け道具にも注目を！

今回の日本橋展示会にはもう一つの目的がありました。それは提案する製品の試作品を実際に使ってもらって、意見や感想を集めることでした。こちらの方も多くの女性の方が参加して下さいました。じかに意見が聴けたのは収穫でした。さらに磨きをかけてより良いものにするよう、皆で取り組んでいきましょう。



県の助成も受けた今年度の匠会の取り組みは、いよいよ成果のまとめに入ります。

小さな歩みですが着実に一步一步。イメージがはっきりした形になっていくよう、心一つに頑張っていきたいと思います。